

# 橋処理センター整備事業だより

第29号 平成28年12月16日発行

## 第29回 橋処理センター整備事業に係る地域住民と行政による検討協議会

【日時】 平成28年11月14日(月) 18:30~19:45

【場所】 橋リサイクルコミュニティセンター 2階会議室

【議事次第及び議事概要】

1 会長あいさつ

2 議事

(1) 第28回検討協議会議事録の確認

事務局から、第28回検討協議会の「議事録」について内容の確認があり、了承されました。

仮囲い設置工事に伴い、市民プラザ通りの歩道が暗いことから照明の設置について、電源の確保を検討した後、委員に回答することが確認されました。

(電源を確保し、12月中に照明を設置する予定です。)

(2) 議題

ア 解体撤去工事着手の遅延による影響について

橋処理センター解体撤去工事の契約辞退により、前回の検討協議会では今後の予定を調整していくことを説明していましたが、スケジュールを見直した結果、新しい施設の稼働開始が1年延期となり、平成35年度初めとなりました。解体撤去工事の仕様書の内容を整理し、再度入札の準備をするとともに、仮囲いの設置工事や機械警備の延長を行うことにより、敷地の管理体制の見直しとその対応を図ってきたことについて事務局より説明がありました。

解体撤去工事及び建設工事の手続きについて、橋処理センター整備事業の全体スケジュールを含めて確認しました。また、解体撤去工事の施工前に住民説明会を実施することや、解体撤去工事受注業者との契約まで、敷地の安全管理に努めることが確認されました。

イ 橋処理センター解体撤去工事着手までの敷地の活用について

これまでも川崎市民プラザや橋リサイクルコミュニティセンターのイベント開催時に臨時の駐車スペースとして敷地を提供してきましたが、橋処理センターの解体撤去工事着手まで期間があるため、高津消防署による災害対応訓練やドラマロケ撮影に活用してきました。また、神奈川県警察、千葉県警察及び高津消防署が連携する大規模訓練は、高津区内初の試みとしての合同訓練に活用し、実災害での活動に近い状況で訓練を実施しました。

橋処理センターの工事着手までの期間について、関係部局との情報共有を行うことにより、日常ではできない活用方法ができたことについて事務局から説明がありました。

今後も解体撤去工事着手まで高津消防署の訓練等に敷地を提供していくことが確認されました。

(裏へ)

### 3 その他

#### (1) 二酸化炭素分離回収設備の導入の可能性について

佐賀県佐賀市で二酸化炭素分離回収設備を設置した事例をもとに、橘処理センターへの導入について会長から提案がありました。

会長の提案を受けて、橘処理センターへの導入の可能性について検討するとともに、建設工事の発注手続きの準備をしていくことが確認されました。

#### (2) 次回の検討協議会について

平成28年度 第30回 検討協議会の日程について、事務局から説明がありました。

(以上)

川崎市のホームページで議事録を公開しています。

環境局施設部施設建設課 橘処理センター整備事業 地域住民と行政による検討協議会

URL：<http://www.city.kawasaki.jp/300/page/0000032413.html>

